

—予防的投与の有用性— Biotherapy 3 (4): 851-855, 1989.

- 6) 笠木徳三, 田沢賢次, 増山喜一, 山下 巖, 石沢 伸, 藤巻雅夫, 前田正敏, 本田 昂: 消化器癌の肝転移再発に対する予防法の研究. 日本消化器外科学会雑誌 22(10): 2364-2370, 1989.
- 7) Hibino Y., Yamamura T., and Sugano, N.: Purification and properties of an endonuclease endogenous to rat-liver nuclei. Biochimica et Biophysica Acta. 1008: 287-292, 1989.
- 8) Asano S., Hibino Y., Ikeda Y., Iwakami N., Sugano N.: Affinity of a DNA with highly repetitive sequence for nuclear proteins from rat liver. Biochemistry International. 19: 871-880, 1989.

#### ◆ 総 説

- 1) 藤巻雅夫, 笠木徳三, 田沢賢次, 前田正敏, 本田 昂: BRM(OK-432 medium chain triglyceride-emulsion) の経口投与と肝転移抑制. Drug delivery System 4(4): 276-280, 1989.

#### ◆ 学会報告

- 1) 佐伯俊雄, 唐木芳昭, 前田正敏, 宗像周二, 川西孝和, 藤巻雅夫, 本田 昂, 瀬戸 光: 乳腺リンパ節シンチグラフィ及び詳細なリンパ流検索法のための基礎的研究—<sup>99m</sup>Tc 標識活性炭の精度, 有用性について—. 第89回日本外科学会総会, 1989, 3, 東京.
- 2) 前田正敏, 山下 巖, 吉田真佐人, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 本田 昂: MFGM(牛乳脂肪球皮膜)を用いた DDS 研究: Insulin 含有 MFGM の経腸管内投与による糖尿病ラットの血糖値に及ぼす影響. 第5回日本 DDS 学会, 1989, 7, 東京.
- 3) 田沢賢次, 竹森 繁, 長江英夫, 山下 巖, 加藤 博, 笠木徳三, 前田正敏, 本田 昂, 藤巻雅夫: Hyperthermia における DDS の研究(1) 特に Dextran Magnetite (DDM) を用いる Inductive Heating について. 第5回日本 DDS 学会, 1989, 7, 東京.
- 4) Honda T.: Pharmacokinetics in Laboratory Animals of LJC 10, 627, a Novel 1 $\beta$ -Methyl Carbapenem Antibiotic. 29th. Interscience Conference on Antimicrobial Agents and Chemotherapy, 1989, 9, Houston.
- 5) 笠木徳三, 田沢賢次, 勝山新弥, 山本克弥, 竹森 繁, 鈴木康将, 藤巻雅夫, 前田正敏, 本田 昂: 肝転移に対する予防的治療(6)—OK-432門脈内投与による被移植腫瘍細胞の形態的観察. 第48回日本癌学会, 1989, 10, 名古屋.

- 6) 笠木徳三, 田沢賢次, 勝山新弥, 山本克弥, 竹森 繁, 新井英樹, 鈴木康将, 藤巻雅夫, 前田正敏, 本田 昂: 肝転移再発に対する予防的治療—OK-432門脈内投与による被移植腫瘍細胞の形態学的観察. 第44回日本大腸肛門病学会, 1989, 11, 東京.
- 7) 堀田和晴, 渡辺 渡, 日比野康英, 菅野延彦, 大橋康宏: 椎茸菌糸体培養物より得られる多糖蛋白質画分 LMP11 のマイトゲン効果. 日本薬学会第109年会, 1989, 4, 名古屋.
- 8) 池田 靖, 日比野康英, 岩上 登, 菅野延彦: ラット肝細胞核 DNA より得られる 370bp Hind III 断片の塩基配列と Scaffold (足場) 蛋白質・日本生化学会北陸支部第7回例会, 1989, 5, 金沢.
- 9) 菅野延彦: 高度反復配列 DNA と nuclear scaffold 蛋白質. 第4回朝霧シンポジウム, 核蛋白質・クロマチン構造および遺伝子発現・1989, 7, 持田製薬・研修センター, 山梨.
- 10) 池田 靖, 日比野康英, 岩上 登, 菅野延彦: ラット肝細胞核の高度反復配列 DNA (370bp HindIII 断片) と 107/115kd nuclear scaffold (足場) 蛋白質の親和性. 第62回日本生化学会大会, 1989, 11, 京都.

## 英 語

教 授 森 康 尚  
講 師 野 中 慶 子  
外国人教師 ジリアン S. ケイ

#### ◆ 著 書

- 1) 野中慶子, 田中茂範: 「コーパス言語学研究第一号: 昭和63年度科学研究費補助金(海外学術研究) コンピューター・コーパスを利用した認知言語学的意味分析とその CAI 教材への応用(課題番号 63044053) 研究成果報告書」 富山医科薬科大学気付: あけぼの印刷, 富山, 1989.

#### ◆ 原 著

- 1) Nonaka K.: Toward "Action Knowledge" Through Communication. Toyama Medical and Pharmaceutical University Bulletin. 11: 1-10, 1989.
- 2) 田中茂範, 野中慶子: 基本語彙のプロトタイプ分析. 言語研究 96: 155-156, 1989.
- 3) Kay, Gillian S.: Gairaiigo. English Today. Vol 5 No 3, 32-35 July 1989 Cambridge University Press

#### ◆ 学会報告

- 1) 田中茂範, 野中慶子: 基本語彙のプロトタイプ分析. 第98回日本言語学会大会, 1989, 6, 横浜
- 2) Nonaka, K.: A Semantic Study of Some Verbs in Doctor-Patient Interactions. The 28th Annual Convention of the Japan Association of College English Teachers. 1989, 9, Fukuoka.  
cf. 同会 Proceedings: 41-42, 1989, Tokyo.
- 3) Nonaka, K.: Cognitive-semantic Analysis of Some Common Verbs Used in a Doctor-Patient Spoken Corpus. The 1989 Annual Convention of the Modern Language Association. 1989, 12, Washington, D.C., U.S.A.

## 独 語

教 授 上 原 欣 一

#### ◆ 学会報告

- 1) 上原欣一: “verlieren” 考. 日本独文学会北陸支部第17回研究発表会, 新潟1989年10月

## 保 健 体 育

教 授 金 子 基 之

助 教 授 小 野 寺 孝 一

#### ◆ 学会報告

- 1) 小野寺孝一: Bioelectrical Impedance 法による身体組成の測定における問題点. 日本体力医学会, 札幌, 体力科学 VOL38, No. 6, 1989.
- 2) 桑守豊美, 大菅洋子, 原田澄子, 渡辺正男, 金子基之, 他: 地域住民の食生活と健康状況の調査結果について. 日本栄養改善学会. 岐阜, 1989

#### ◆ 著 書

- 1) 金子基之, 山地啓司, 小野寺孝一, 他: 生涯スポーツ活動プログラム, 富山県, 富山県教育委員会, 平成元年3月.
- 2) 金子基之, 他, 「体力増進の手引」富山県教育委員会, 平成元年, 3月

## 日 本 語 ・ 日 本 事 情

助 教 授 大 星 光 史

#### ◆ 著 書

- 1) 大星光史: 漂泊俳人井月の句碑, 句画集, 句会の記録について. 国語研究 35: 62-70, 1989.
- 2) 大星光史: 芥川龍之介の詩的感覚. 俳句とエッセイ 8 : 176-184, 1989.
- 3) 大星光史: 晩年の良寛. 孤帆 10: 13-17, 1989.
- 4) 大星光史: 乞食俳人井月の生涯. 俳句とエッセイ 11 : 130-143, 1989.
- 5) 大星光史: 漂泊俳人の系譜. 世界思想社. 京都, 1989.